

## II 委託（入所）時の家庭の状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

### 1 養護問題発生理由

養護問題発生理由の主なものは、里親委託児の場合には「養育拒否」16.0%（前回19.9%）、「父又は母の行方不明」14.3%（前回14.7%）であり、養護施設児の場合には「父又は母の虐待・酷使」14.4%（前回11.1%）、「父又は母の放任・怠だ」13.8%（前回11.7%）、乳児院の場合には「父又は母の精神疾患等」19.1%（前回14.9%）、「父又は母の虐待・酷使」9.2%（前回4.6%）となっている。

また、情緒障害児の場合には「父又は母の虐待・酷使」26.5%（前回22.9%）、「父又は母の放任・怠だ」16.4%（前回14.1%）であり、自立施設児の場合には「父又は母の放任・怠だ」22.3%（前回20.7%）、「父又は母の虐待・酷使」17.0%（前回11.3%）となっている。

なお、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」「虐待・酷使」「棄児」「養育拒否」を合計すると、里親委託児は全体の36.7%（前回40.4%）、養護施設児33.1%（前回27.4%）、情緒障害児47.9%（前回42.1%）、自立施設児45.8%（前回37.5%）、乳児院児27.2%（前回20.5%）となっており、前回調査に比し里親を除き、すべての施設において虐待を理由とした委託及び入所が増えている。

表11 養護問題発生理由別児童数

	児童数					構成割合 (%)				
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児
総数	3,611	31,593	1,104	1,995	3,299	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
父の死亡	46	195	14	9	2	1.3	0.6	1.3	0.5	0.1
母の死亡	192	580	10	25	35	5.3	1.8	0.9	1.3	1.1
父の行方不明	109	328	2	16	8	3.0	1.0	0.2	0.8	0.2
母の行方不明	408	1,869	14	28	136	11.3	5.9	1.3	1.4	4.1
父母の離婚	136	1,304	52	203	82	3.8	4.1	4.7	10.2	2.5
両親の未婚	*	*	*	*	260	*	*	*	*	7.9
父母の不和	21	252	19	49	42	0.6	0.8	1.7	2.5	1.3
父の拘禁	65	563	10	24	30	1.8	1.8	0.9	1.2	0.9
母の拘禁	108	1,048	15	24	146	3.0	3.3	1.4	1.2	4.4
父の入院	31	327	4	8	5	0.9	1.0	0.4	0.4	0.2
母の入院	159	1,506	10	12	122	4.4	4.8	0.9	0.6	3.7
家族の疾病の付添	*	*	*	*	14	*	*	*	*	0.4
次子出産	*	*	*	*	22	*	*	*	*	0.7
父の就労	82	1,762	13	19	24	2.3	5.6	1.2	1.0	0.7
母の就労	99	1,293	19	72	221	2.7	4.1	1.7	3.6	6.7
父の精神疾患等	12	180	7	15	7	0.3	0.6	0.6	0.8	0.2
母の精神疾患等	277	3,197	145	158	622	7.7	10.1	13.1	7.9	18.9
父の放任・怠だ	34	654	29	100	13	0.9	2.1	2.6	5.0	0.4
母の放任・怠だ	319	3,707	152	346	276	8.8	11.7	13.8	17.3	8.4
父の虐待・酷使	102	1,849	137	181	119	2.8	5.9	12.4	9.1	3.6
母の虐待・酷使	156	2,693	156	158	184	4.3	8.5	14.1	7.9	5.6
棄児	134	166	3	12	50	3.7	0.5	0.3	0.6	1.5
養育拒否	579	1,378	52	116	256	16.0	4.4	4.7	5.8	7.8
破産等の経済的理由	210	2,390	22	24	188	5.8	7.6	2.0	1.2	5.7
児童の問題による監護困難	36	1,047	117	148	21	1.0	3.3	10.6	7.4	0.6
その他	217	2,674	92	192	353	6.0	8.5	8.3	9.6	10.7
不詳	79	631	10	56	61	2.2	2.0	0.9	2.8	1.8

注) \*は、調査項目としていない。

## 2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類

「虐待経験あり」の割合をみると、里親委託児で31.5%、養護施設児で53.4%、情緒障害児で71.6%、自立施設児で65.9%、乳児院児で32.3%となっている。

また、里親委託児、養護施設児及び乳児院児でネグレクトが最も多く、その割合は67.1%、66.2%、71.4%である。情緒障害児及び自立施設児で身体的虐待が最も多く、その割合は60.5%、59.5%である。

表12 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験あり	虐待経験の種類（複数回答）				虐待経験なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
里親委託児	3,611	1,138	348	56	764	174	2,219	237
	100.0%	31.5%	30.6%	4.9%	67.1%	15.3%	61.5%	6.6%
養護施設児	31,593	16,867	6,707	664	11,159	3,440	12,902	1,752
	100.0%	53.4%	39.8%	3.9%	66.2%	20.4%	40.8%	5.5%
情緒障害児	1,104	790	478	67	372	254	295	17
	100.0%	71.6%	60.5%	8.5%	47.1%	32.2%	26.7%	1.5%
自立施設児	1,995	1,314	782	422	597	276	528	142
	100.0%	65.9%	59.5%	32.1%	45.4%	21.0%	26.5%	7.1%
乳児院児	3,299	1,066	335	8	761	98	2,091	126
	100.0%	32.3%	31.4%	0.8%	71.4%	9.2%	63.4%	3.8%

注) 総数には不詳を含む。

## 3 委託（入所）時の保護者の状況

委託（入所）時に「両親又は一人親あり」の割合をみると、里親委託児で67.7%（前回67.8%）、養護施設児で83.2%（前回91.5%）、情緒障害児で87.3%（前回85.3%）、自立施設児で87.7%（前回89.1%）、乳児院児で89.0%（前回84.6%）となっており、里親委託児で最も低くなっている。

「両親又は一人親あり」の児童についてみると、最も割合の多い保護者は、里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児が「実母のみ」でそれぞれ59.0%（前回56.9%）、42.5%（前回38.1%）、46.5%（前回36.6%）、45.1%（前回40.3%）であり、乳児院児が「実父母有」で52.4%（前回46.9%）となっている。

「両親ともいない・不明」の児童についてみると、祖父母が養育を行っている割合が高い。

表13-1 委託（入所）時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は一人親	両親ともいない	両親とも不明	不詳
里親委託児	3,611	2,443	769	243	156
	100.0%	67.7%	21.3%	6.7%	4.3%
養護施設児	31,593	26,277	2,730	708	1,878
	100.0%	83.2%	8.6%	2.2%	5.9%
情緒障害児	1,104	964	94	7	39
	100.0%	87.3%	8.5%	0.6%	3.5%
自立施設児	1,995	1,750	126	23	96
	100.0%	87.7%	6.3%	1.2%	4.8%
乳児院児	3,299	2,935	68	65	231
	100.0%	89.0%	2.1%	2.0%	7.0%

表13-2 両親又は一人親ありの内訳別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ	不詳
里親委託児	2,443 100.0%	515 21.1%	342 14.0%	1,441 59.0%	37 1.5%	88 3.6%	5 0.2%	9 0.4%	4 0.2%	2 0.1%
養護施設児	26,277 100.0%	7,301 27.8%	4,858 18.5%	11,161 42.5%	662 2.5%	2,029 7.7%	48 0.2%	108 0.4%	74 0.3%	36 0.1%
情緒障害児	964 100.0%	251 26.0%	80 8.3%	448 46.5%	54 5.6%	118 12.2%	3 0.3%	4 0.4%	6 0.6%	- -
自立施設児	1,750 100.0%	432 24.7%	218 12.5%	790 45.1%	70 4.0%	221 12.6%	5 0.3%	8 0.5%	4 0.2%	2 0.1%
乳児院児	2,935 100.0%	1,537 52.4%	84 2.9%	1,251 42.6%	5 0.2%	44 1.5%	4 0.1%	1 0.0%	2 0.1%	7 0.2%

表13-3 両親ともいない・不明の内訳別児童数

	総数	祖父母	養父母 の親	兄・姉	義兄 義姉	伯(叔) 父母	義伯 (叔) 父母	里親	その他	なし	不明	不詳
里親委託児	1,012 100.0%	331 32.7%	3 0.3%	17 1.7%	1 0.1%	69 6.8%	2 0.2%	47 4.6%	327 32.3%	82 8.1%	118 11.7%	15 1.5%
養護施設児	3,438 100.0%	1,047 30.5%	16 0.5%	122 3.5%	16 0.5%	252 7.3%	26 0.8%	157 4.6%	1,381 40.2%	170 4.9%	147 4.3%	104 3.0%
情緒障害児	101 100.0%	26 25.7%	- -	4 4.0%	1 1.0%	8 7.9%	- -	9 8.9%	39 38.6%	10 9.9%	2 2.0%	2 2.0%
自立施設児	149 100.0%	49 32.9%	1 0.7%	10 6.7%	- -	20 13.4%	- -	8 5.4%	49 32.9%	6 4.0%	- -	6 4.0%
乳児院児	133 100.0%	27 20.3%	20 15.0%	- -	1 0.8%	2 1.5%	- -	9 6.8%	19 14.3%	11 8.3%	6 4.5%	38 28.6%

### Ⅲ 家族との関係（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

#### 1 家族との交流関係

家族との交流関係について「交流なし」の割合は、里親委託児で71.9%（前回75.7%）、養護施設児で16.1%（前回16.6%）、情緒障害児で9.0%（前回7.2%）、自立施設児で7.3%（前回11.5%）、乳児院児で20.2%（前回23.4%）となっており、特に、里親委託児で「交流なし」が高くなっている。施設入所児童の交流では帰省の割合が高く、養護施設児で52.7%（前回51.6%）、情緒障害児で69.0%（前回72.4%）、自立施設児で45.3%（前回48.1%）となっているが、乳児院児では面会の割合が多く、51.3%（前回48.3%）となっている。

表14-1 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし	不詳
		帰省	面会	電話手紙連絡		
里親委託児	3,611 100.0%	327 9.1%	461 12.8%	193 5.3%	2,598 71.9%	32 0.9%
養護施設児	31,593 100.0%	16,657 52.7%	5,947 18.8%	3,020 9.6%	5,071 16.1%	898 2.8%
情緒障害児	1,104 100.0%	762 69.0%	180 16.3%	55 5.0%	99 9.0%	8 0.7%
自立施設児	1,995 100.0%	904 45.3%	309 15.5%	147 7.4%	146 7.3%	489 24.5%
乳児院児	3,299 100.0%	652 19.8%	1,693 51.3%	237 7.2%	667 20.2%	50 1.5%

次に家族との交流頻度であるが、電話・手紙において「年2回～11回」が最も高く、里親委託児52.8%（前回49.3%）、養護施設児63.5%（前回61.6%）、情緒障害児で67.3%（前回64.5%）、自立施設児51.7%（前回52.9%）、乳児院児47.7%（前回57.4%）であった。

また、面会において「月1回以上」が最も高かったのは乳児院児48.9%（前回47.7%）であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、里親委託児62.3%（前回52.5%）、養護施設児68.5%（前回67.5%）、情緒障害児63.9%（前回62.3%）、自立施設児60.8%（前回58.2%）であった。

さらに、帰省において「月1回以上」が最も高かったのは乳児院児で61.2%（前回56.7%）、情緒障害児49.6%（前回62.8%）であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、里親委託児54.4%（前回54.3%）、養護施設児70.2%（前回71.0%）、自立施設児72.2%（前回76.2%）であった。

表14-2 家族との交流頻度別児童数

	児童数					構成割合 (%)				
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児
<b>【電話・手紙】</b>										
総数	193	3,020	55	147	237	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	34	590	9	50	85	17.6%	19.5%	16.4%	34.0%	35.9%
年2回～11回	102	1,917	37	76	113	52.8%	63.5%	67.3%	51.7%	47.7%
年1回ぐらい	54	501	9	21	39	28.0%	16.6%	16.4%	14.3%	16.5%
不詳	3	12	-	-	-	1.6%	0.4%	-	-	-
<b>【面会】</b>										
総数	461	5,947	180	309	1,693	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	91	1,162	49	104	828	19.7%	19.5%	27.2%	33.7%	48.9%
年2回～11回	287	4,072	115	188	737	62.3%	68.5%	63.9%	60.8%	43.5%
年1回ぐらい	82	704	16	17	127	17.8%	11.8%	8.9%	5.5%	7.5%
不詳	1	9	-	-	1	0.2%	0.2%	-	-	0.1%
<b>【帰省】</b>										
総数	327	16,657	762	904	652	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	103	4,025	378	220	399	31.5%	24.2%	49.6%	24.3%	61.2%
年2回～11回	178	11,694	346	653	230	54.4%	70.2%	45.4%	72.2%	35.3%
年1回ぐらい	43	924	37	26	23	13.1%	5.5%	4.9%	2.9%	3.5%
不詳	3	14	1	5	-	0.9%	0.1%	0.1%	0.6%	-

## 2 児童の今後の見通し

児童の今後の見通しについては、里親委託児では「自立まで現在の里親家庭で養育」60.9%（前回49.2%）、「養子縁組又は里親委託」17.0%（前回28.4%）に対し、「保護者のもとへ復帰」は13.8%（前回13.9%）にすぎない。養護施設児では「自立まで現在の児童養護施設で養育」55.1%（前回56.5%）、情緒障害児では「保護者のもとへ復帰」52.4%（前回53.5%）、自立施設児では「保護者のもとへ復帰」61.0%（前回60.8%）、乳児院児では「現在の乳児院で養育」34.1%（前回35.6%）が最も高くなっている。

表15-1 児童の今後の見通し別児童数（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児）

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	自立まで現在のままで養育	養子縁組又は里親委託	現在のままでは養育困難	その他	不詳
里親委託児	3,611 100.0%	498 13.8%	32 0.9%	2,199 60.9%	613 17.0%	49 1.4%	215 6.0%	5 0.1%
養護施設児	31,593 100.0%	11,193 35.4%	541 1.7%	17,398 55.1%	440 1.4%	380 1.2%	1,544 4.9%	97 0.3%
情緒障害児	1,104 100.0%	578 52.4%	21 1.9%	147 13.3%	11 1.0%	17 1.5%	329 29.8%	1 0.1%
自立施設児	1,995 100.0%	1,217 61.0%	38 1.9%	331 16.6%	25 1.3%	54 2.7%	326 16.3%	4 0.2%

表15-2 児童の今後の見通し別児童数（乳児院児）

	総数	保護者のもとへ復帰	親類等の家庭への引き取り	現在の乳児院で養育	児童養護施設へ	母子生活支援施設へ	養子縁組又は里親委託	その他	不詳
乳児院児	3,299 100.0%	840 25.5%	21 0.6%	1,126 34.1%	736 22.3%	6 0.2%	323 9.8%	243 7.4%	4 0.1%